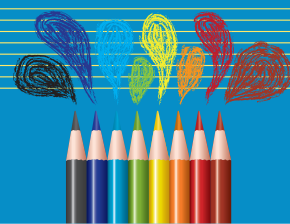


はがき新聞



Vol.11 「校外学習の体験をはがき新聞で伝える」

東京都立小石川中等教育学校：主幹教諭 上村礼子

2学期は多くの学校で校外学習が計画されていると思います。はがき新聞を作成する活動を通して、子どもたちは体験したことの価値を気づき、さらに成長すると思います。

校外学習のまとめをはがき新聞で

2学期は修学旅行、校外学習、職場体験など校外での実体験ができる行事を計画されている学校も多くあると思います。学習のまとめとして、資料や本を調査する活動だけでなく、実体験したことの中から、最も記憶に残った情報を選択して記事にする活動は、体験したことを文字に表わす活動で、実は苦手意識をもっている生徒も少なくないようです。心の中で抱えている感情を、文字にして表現するというのも重要な活動となります。

学校を出て生徒が地域、社会の方々とふれあう行事は、人との関わりの中で、自分が生かされ、守られていることを知るかけがえのない体験ができるチャンスであると思います。地域・社会とのつながりを実感することで、生徒は自分の存在意義について考えることにもつながります。また、お世話になった方々への感謝の気持ちを強くもつ出来事も多く体験します。内面で生徒は感謝の気持ちを抱いてはいるものの、感謝の気持ちを表すことが苦手であったり、恥ずかしがったりという生徒も少なくありません。行事でのエピソードとともに、お世話になった方々への感謝の気持ちを文字で表現する。気持ちを言葉にして表すという活動を、学校で体験しておくことで、今後社会へ出た際も、同様の行動をとることができるようになります。

作品例①



